

令和2年 8月 3日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院生命科学研究部長
富澤 一仁 (公印省略)

熊本大学大学院生命科学研究部 先端生命医療科学部門 成育再建・移植医学分野
産科婦人科学講座担当教授候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院生命科学研究部では成育・移植医学分野の産科婦人科学講座担当教授候補者の公募を行うことになりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、貴機関において教授候補の適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本講座担当教授には、大学院生命科学研究部においては、産科学・婦人科学の先端的研究を展開していただきます。医学部・大学院医学教育部においては産科学・婦人科学及び関連科目（教養科目を含む）の教育を担当していただき、病院では産科・婦人科の診療を担当していただきます。

記

1. 募集職名及び人員 教授1名
2. 所 属 熊本大学大学院生命科学研究部 先端生命医療科学部門
成育再建・移植医学分野 産科婦人科学講座
3. 応募条件
 - (1) 博士の学位並びに医師免許を有する者
 - (2) 産科学・婦人科学に関する卓越した業績を有するとともに先端的な研究を展開できる者
 - (3) 大学院医学教育部並びに医学部の兼任教授として、大学院並びに学部教育において優れた教育能力を有する者
 - (4) 大学院生命科学研究部教授にふさわしい人格を有する者
 - (5) 当該診療科に関連する専門医の資格を有する者
 - (6) 熊本大学病院で産科・婦人科の診療に従事できる者
4. 公募期限 令和2年9月30日(水) 必着
5. 着任時期 令和3年4月1日以降、できるだけ早い時期
6. 労働条件等
 - 勤務形態 : 始業8時30分 終業17時15分
 - 任期の定め : なし
 - 試用期間 : 6か月
 - 勤務場所 : 熊本大学本荘キャンパス
 - 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
 - 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
 - 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
 - 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

7. 提出書類

- | | |
|---|----|
| (1) 推薦書 | 1部 |
| (2) 履歴書 (様式有) | 1部 |
| メールアドレス及び連絡先をご記入下さい
また、男女を問わず、出産、育児、介護に専念 (あるいは従事) した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。 | |
| (3) 業績目録 (様式有) | 1部 |
| (4) 主要研究論文目録 (総説を含む) (様式有) | 1部 |
| 最近5カ年の原著論文を中心に、主要論文20編の別刷各2部を添付のこと (コピーでも可) | |
| (5) 業績の概要 (様式有) | 1部 |
| (6) 研究・教育に対する抱負 (様式有) | 1部 |
| (7) 診療の実績と抱負 (様式有) | 1部 |
| (8) 過去5年間に於ける手術記録のコピー (患者氏名、年齢、カルテ番号等を抹消してプライバシーに配慮したもの) 及び手術術式別の症例数一覧表 (術者として、あるいは指導者として行った症例数をそれぞれ記載) (様式有) | 1部 |
| (9) 特定臨床研究目録 (様式有) | 1部 |

併せてテキストファイル (または、Word) を電子媒体でも提出願います。(論文の別刷のコピーは除く)

※(2)～(9)の様式は、本研究部ホームページ (<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp>) の【教員募集のご案内】の『応募様式』を御使用ください。

8. 附記 *選考に当たって、候補者各位にはセミナー及び面談をお願いすることがありますので、あらかじめ御承知おきます。
- *応募書類に記載された個人情報は、当該選考のみ使用し、他の目的には一切使用しません。また、応募書類は返却しません。
- *熊本大学は男女共同参画を推進しています。(詳細はホームページをご覧ください。<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>) また、選考にあたっては、男女共同参画社会基本法に精神に則り、適正に行います。

9. 書類提出先 熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム 総務・人事担当：新富
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号 TEL 096-373-5659
e-mail: ski-jinji@jim.kumamoto-u.ac.jp

履 歴 書

氏名 (ふりがな) 熊本 太郎 (くまもと たろう)

生年月日 1970年1月11日

自宅住所 〒8XX-0XXX ○○県○○市○○町 1-23-4-567
TEL/FAX : 0XX-123-4567

勤務先・現職 ○○大学大学院○○研究科・准教授
○○大学大学院○○研究科 ○○学部門 ○○学分野
〒8XX-0XXX ○○県○○市○○町 8-9
TEL : 0XX-321-4567 FAX : 0XX-321-1234
E-mail taro@xyz.abc.ne.jp

学 歴 1988年3月31日 ○○高等学校 卒業
1988年4月1日 ○○大学医学部 入学
1994年3月25日 同 卒業
1996年4月1日 ○○大学大学院○○研究科 入学
(○○学専攻)
2000年3月24日 同 修了 (医学博士)

職 歴 1994年4月1日 ○○病院・研修医
2000年4月1日 米国 NIH 客員研究員 (Dr. ○○研究室)
2005年7月16日 ○○大学○○研究所・准教授
2010年4月1日 ○○大学大学院○○研究科・准教授
現在に至る

学 位 医学博士 (2000年3月 ○○大学)

免許および資格 注 : 専門医・指導医の有無について明記すること。
1994年5月10日 医師免許 (登録第 11111 号)
2000年10月1日 日本○○学会認定 専門医 111 号

学会活動等 日本○○学会 (8年間、平成14年より評議員)
日本△△学会 (6年間、平成16年より理事)
日本□□学会 (4年間)

賞 罰 2009年12月3日 第10回日本 XX 学会賞受賞

業績目録

注：著者名は全員を記し、応募者にはアンダーライン、論文の **corresponding author** には*を付すこと。また投稿中論文は記載しないこと。印刷中の論文については正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って記載が認められる。業績目録作成にあたって以下の業績等のサンプル記入例を参考にすること。記載順は、直近の年代の論文から過去に遡って記載すること。英文原著論文・総説・症例報告については掲載誌の最新の **impact factor (IF)** 及び当該論文の被引用回数 (citation; Scopus による最新データ) を記すこと。

I. 英文原著論文

1. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T, Kumamoto T., Tsubame S., Mizuo T., Sakura H., Shirakawa K. & Kurokami T.*
PKC is activated by the cell-matrix interaction via CD44.
J. Cell Biol., (2020) in press. [IF, 8.784; citation, 0]
2. Honjo J.* & Kumamoto T.
Progression of tumor cells by H-Ras oncogenic signaling.
Proc. Natl. Acad. Sci. USA 108, 9-10 (2018). [IF, 9.504; citation, 10]
3. Kumamoto T.,* Honjo J., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.
Signal transduction in the cell differentiation.
Nature 483, 456-789 (2013). [IF, 41.577; citation, 300]

II. 英文原著論文の数、IF の総和および引用回数のまとめ

注：記入例に従い、総論文数、1st author、2nd author、last author、corresponding author および、それ以外の共著者の論文数を記載すること。印刷中の論文については、I に記載したものに限り記載が認められる。1st author であつ corresponding author である場合や last author で corresponding author である場合などは、corresponding author として扱い、重複して記載をしてはならない。IF の合計点、*selected IF の合計点および引用回数についても記載すること。また最近5年間 (2015~2020年) (in press も含む) の掲載論文についても () 内に、最近10年間 (2010~2020年) の掲載論文について [] 内に記載すること。

*Selected IF: 申請者が 1st author, 2nd author, last author もしくは corresponding author である論文の IF。

記入例

原著論文総数
100 (35)[48]

1st author 論文数	2nd author 論文数	Last author 論文数	Corresponding author 論文数	それ以外の 論文数
20 (7)[10]	20 (10)[15]	20 (5)[6]	10 (5)[7]	30 (8)[10]

IF の合計点	Selected IF の 合計点	引用回数の 総合計
350 (200) [220]	212 (167)[200]	2562

III. 英文総説

1. Honjo J., Kumamoto T.* & Kurokami T.
Regulation of cellular proteins via ubiquitin-proteasome system.
N. Engl. J. Med. 345, 9-10 (2014). [IF, 79.260; citation, 500]
2. Kumamoto T.*
Stress response in neuronal cells.
Nat. Rev. Mol. Cell Biol. 1, 23-45 (2011). [IF, 35.612; citation, 600]

IV. 英文総説論文の数、IF の総和および引用回数のおよびまとめ

注：記入例に従い、総論文数、1st author、2nd author、last author、corresponding author の論文数を記載すること。印刷中の論文については、Ⅲに記載したものに限り記載が認められる。1st author かつ corresponding author である場合や last author で corresponding author である場合などは、corresponding author として扱い、重複して記載をしてはならない。申請者が 1st author、2nd author、last author、corresponding author である英文総説の IF の合計点および引用回数についても記載すること。また最近5年間(2015～2020年) (in press も含む) の掲載論文についても () 内に、最近10年間 (2010～2020年) の掲載論文について [] 内に記載すること。

記入例

総説論文総数
13 (8)【24】

1st author 論文数	2nd author 論文数	Last author 論文数	Corresponding author 論文数	それ以外の 論文数
7 (4) 【8】	3 (1) 【5】	1 (1) 【3】	1 (1) 【3】	1 (1) 【5】

IF の合計点	引用回数の 総合計
70 (55) 【60】	100

V. 英文症例報告

1. Kumamoto T.* Honjo J., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.
A case of type A insulin resistance with insulin receptor gene mutation.
N. Engl. J. Med. 340, 20-22 (2016). [IF, 79.260; citation, 50]

VI. 英文症例報告の IF の総和

注：記入例に従い、申請者が 1st author、2nd author、last author、corresponding author である英文症例報告の IF の合計点についても記載すること。また最近5年間(2015～2020年) (in press も含む) の掲載論文についても () 内に、最近10年間 (2010～2020年) の掲載論文について [] 内に記載すること。

記入例

IF の合計点
0 (0) 【0】

VII. 邦文原著論文

1. 熊本太郎. 組み換えタンパク質の発現効率の制御に関する研究.
生化学 85, 124-132 (2018).

VIII. 邦文症例報告

1. 熊本太郎, 本荘次郎
糖尿病ケトアシドーシス発症時の症例.
糖尿病 56, 80-85 (2017).

IX. 邦文総説

(注：全国規模の学会誌などに、申請者の研究成果を中心に当該分野の現況などについてレビューした、特に重要なもの等に限って記載のこと。)

1. 熊本太郎. 組み換えタンパク質の研究についての展望.
生化学 84, 985-993 (2017).

X. 著書

1. Kumamoto T., Kuhonji T, Tsubame S., Mizuo T., Sakura H. & Kurokami T.
Alzheimer's disease and stress gene expression.
In Alzheimer's Disease, Annals of Neuroscience, Vol. 123
(eds., Honjo J., Oshiro G. & Shirakawa K.), Kumamoto Academy of Medical Sciences,
Kumamoto, p. 456-789 (2017).
2. 熊本太郎
組み換えタンパク質
新医科学実験講座 23 (医科学会 本荘次郎 編), 化学同人 (熊本), p. 456-789 (2009)

X I. 招待講演 (シンポジウムを含む) (国際学会)

1. Kumamoto T.
Regulation of autophagy in human cells.
The 10th International Conference on Human (2018)

X II. 特別講演・宿題報告・教育講演・指名講演など (国内学会)

(注：全国規模の学会に限定し、企業主催のセミナー・講演会などを除いたものを記載のこと。)

1. 熊本太郎, 本荘次郎
フォスファターゼと活性化機構
第 123 回 医学生物学シンポジウム (2016)

XIII. シンポジウム発表など（国内学会）

（注：全国規模の学会に限定し、企業主催のセミナー・講演会などを除いたものを記載のこと。）

1. 熊本太郎, 本荘次郎
フォスファターゼと活性化機構
第 123 回 医学生物学シンポジウム (2018).

XIV. 競争的研究資金の獲得状況

（注：過去に獲得した競争的研究資金について、研究代表者・分担者分をそれぞれ文部科学省科学研究費補助金、その他の省庁研究補助金、財団等補助金別に配分資金（直接経費）を記載のこと。なお、研究分担者分については分担者への実際の配分額を記すこと。また、間接経費の交付がある場合には、その配分額を明記すること。）

研究代表者分

文部科学省科学研究費

1. 平成 26～29 年度 基盤研究(B) 15,000 千円（間接経費 4,500 千円）
タンパク質リン酸化と活性化機構
2. 平成 30～令和 2 年度 基盤研究(A) 30,000 千円（間接経費 9,000 千円）
神経変性疾患と遺伝子治療に関する研究

その他の省庁研究補助金

1. 平成 27～30 年度 厚生労働省科学研究費
がん克服戦略研究事業 50,000 千円
細胞のイメージングと分子標的治療

財団等補助金

1. 平成 29 年度 特定研究助成金 2,000 千円
細胞ストレスと薬剤耐性化に関する研究

研究分担者分

文部科学省科学研究費

1. 平成 27～30 年度 基盤研究(B) 1,000 千円（間接経費 300 千円）
幹細胞の分子機構に関する研究（研究代表者 黒髪太郎）
2. 平成 28～30 年度 基盤研究(B) 0 千円
低酸素応答に関する研究（研究代表者 大江良子）

その他の省庁研究補助金

1. 平成 26～30 年度 厚生労働省科学研究費
がん克服戦略研究事業 5,000 千円
多剤耐性がん細胞に関する研究（研究代表者 黒髪太郎）

財団等補助金

1. 平成 30 年度 日本糖尿病財団研究助成金 500 千円
細胞ストレスに関する研究（研究代表者 黒髪太郎）

XV. 競争的研究資金の獲得状況のまとめ

注：記入例に従い、総獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額、最近5年間(平成28～令和2年度)(内定を含む)の直接経費獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額を記載すること。間接経費の交付がある場合には、()内にその配分額を記載すること。

記入例

直接経費の総額(間接経費)	研究代表者としての直接経費獲得額(間接経費)	研究分担者としての直接経費獲得額(間接経費)
200,000千円(40,500千円)	150,000千円(40,000千円)	50,000千円(500千円)

平成28～令和2年度の直接経費の合計(間接経費)	平成28～令和2年度の研究代表者としての直接経費獲得額(間接経費)	平成28～令和2年度の研究分担者としての直接経費獲得額(間接経費)
100,000千円(25,300千円)	80,000千円(25,000千円)	20,000千円(300千円)

主要研究論文

(原則として原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。総説を記載した場合は、明記すること。合計20編以内限定して記載すること。)

○最近5カ年(2015~2020年)(in pressを含む)の業績

1. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T., Kumamoto T., Tsubame S., Mizuo T., Sakura H. Shirakawa K. & Kurokami T.*
PKC is activated by the cell-matrix interaction via CD44.
J. Cell Biol., (2020) in press. [IF, 8.784; citation, 0]
2. Honjo J.* & Kumamoto T.
Progression of tumor cells by H-Ras oncogenic signaling.
Proc. Natl. Acad. Sci. USA 108, 9-10 (2018). [IF, 9.504; citation, 10]
3. Kumamoto T.,* Honjo E., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.
Signal transduction in the cell differentiation.
Nature 483, 456-789 (2017). [IF, 41.577; citation, 300]

○それ以前の主要な業績

1. Kumamoto T.*
Stress response in neuronal cells.
N. Engl. J. Med. 345, 9-10 (2014). [IF, 79.260; citation, 500]
英文総説
2. Honjo J., Kumamoto T.* & Kurokami T.
Insulin resistance in the liver.
N. Engl. J. Med. 345, 9-10 (2007). [IF, 79.260; citation, 512]

注：著者名は全員を記し、応募者にはアンダーラインを引き、論文の corresponding author には*を付すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中の論文については、正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って記載が認められる。記載順は、直近の年代の論文から過去に遡って記載すること。また、掲載誌の最新の impact factor (IF)、及び当該論文の引用回数 (citation; Scopus による最新データ) を記すこと。

業績の概要

熊本 太郎

現在までの業績をA4に1枚、1200字以内で記載すること。

研究・教育に対する抱負

熊本 太郎

当該講座応募に関して、現在お持ちの抱負をA4に1枚、1200字以内で記載すること。

診療の実績と抱負

熊本 太郎

当該講座応募に関して、これまでの診療実績ならびに今後の抱負をA4に1枚、1200字以内で記載すること。

手術リスト(手術術式別の症例数一覧表)
(2015年1月～2019年12月までの5年間の合計手術件数)

2015年1月～2019年12月までの5年間で、本人が執刀、直接指導、その他の役割をした手術件数について記入してください。
婦人科領域の1・2と①～③は症例が重複して結構です。
手術記録は術式ごとに並べて症例番号を記し、各術式の後(産科領域の場合は該当する項目の後)に該当する症例番号を(～)で示してください。
記入欄は適宜広げて記載してください。

婦人科領域		疾患名	術式	①執刀医	②指導医	③その他
1	悪性腫瘍	子宮頸癌				
		子宮体癌				
		卵巣癌・卵管癌・腹膜癌				
		その他の悪性腫瘍(外陰癌、腔瘻、絨毛癌、肉腫)				
		他科(消化器外科・泌尿器科など)				
2	良性腫瘍・疾患	子宮筋腫・子宮腺筋症・子宮内膜症				
		卵巣腫瘍・卵管腫瘍				
		腔・外陰腫瘍				
		骨盤臓器脱				
		先天性子宮・腔形態異常				
		その他(後腹膜腫瘍など)				
①	開腹術・腔式手術		広汎子宮全摘出術(広汎子宮頸部摘出術を含む)			
			準広汎子宮全摘出術			
			単純子宮全摘出術			
			骨盤除臓術			
			外陰、腔切除術(広汎、単純を含む)			
			子宮頸部円錐切除術			
			子宮筋腫核出術			
			子宮付属器切除術			
			子宮・腔形態異常形成術(Jones & Jones手術、造腔術など)			
			その他			
②	腹腔鏡下手術 (診療報酬収載)		良性子宮腫瘍・疾患手術			
			良性子宮付属器腫瘍・疾患手術(異所性妊娠を含む)			
			不妊症手術(骨盤内癒着、骨盤内感染症など)			
			子宮体癌手術			
			子宮頸癌手術			
			傍大動脈リンパ節郭清術			
③	ロボット支援下手術 (診療報酬収載)		良性子宮腫瘍手術			
			子宮体癌手術			
			骨盤臓器脱手術			

産科領域		疾患名	術式	①執刀医	②指導医	③その他
①	帝王切開術	前置胎盤・癒着胎盤				
		常位胎盤早期剥離				
		帝王切開術＋子宮摘出術				
		死産期帝王切開術				
		婦人科疾患合併妊娠(子宮頸癌、子宮筋腫、卵巣腫瘍など)				
		その他の適応				
②	子宮内容除去術		流産手術			
			胎状奇胎除去術			
			その他の適応			
③	子宮頸管縫縮術					
④	羊水穿刺、臍帯穿刺、絨毛サンプリング					
⑤	胎内手術(胎児輸血、胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術など)					
⑥	その他					

* 特定臨床研究について

①治験責任者あるいは治験分担者として実施した（実施中を含む）医師主導治験および企業治験、または研究代表者あるいは分担者として実施した（実施中を含む）医薬品・医療機器を用いた医師主導臨床研究（治験を除き、介入・侵襲を伴うもの）があれば、治験名あるいは臨床研究名、責任者（代表者）と分担者の別、各施設における倫理委員会での承認日と承認番号を記載してください。

記入例) 企業治験

- 1) 外傷性脳損傷（TBI）に起因する慢性運動障害患者における加工幹細胞（SB623）の安全性及び有効性の評価を目的とした二重盲検比較対象第Ⅱ相試験
治験施設分担医師
整理番号：12345678-11Y
承認日：2015/4/29

②医師主導治験および企業治験、または医薬品・医療機器を用いた医師主導臨床研究（治験を除き、介入・侵襲を伴うもの）の実施に伴い発表された英文原著論文の中で、1st author、2nd author、last author、corresponding author のいずれかである論文があれば、業績目録の記入例に従って記載してください。

記入例) 医師主導臨床研究

- 1) 初発膠芽腫に対する放射線療法併用テモゾロミド、ベバシズマブ療法および増悪または再発後のベバシズマブ継続投与の有効性と安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験
施設責任医師
整理番号：A1234567-11X
承認日：2015/06/20